

## ▶ 第8章

# デジタルチャイナの先にある新社会 ——ビジネスチャンスとリスク

伊藤忠総研産業調査センター 主任研究員

趙 璋琳

### 【ポイント】

- ▶ 世界第2位の経済大国となった中国は近年、経済成長の伸び率こそ鈍化しているが、デジタル分野においては目覚ましい発展を遂げている。中国はデジタル分野の競争力向上をさらなる発展のエンジンとしており、2021年から始まった「第14次5カ年計画（2021-25年）と2035年目標」では「数字中国（デジタルチャイナ）」建設を前面に打ち出している。
- ▶ デジタルチャイナというグランドデザインのもと、人工知能などの「ABCD 5G」を中心としたデジタル技術の社会実装がさらに加速していく。とりわけ、これまで後れを取っていた農村などの「下沈市場」の変貌ぶりに注目すべきだろう。デジタルインフラの整備、各種デジタルサービスの浸透および当該地域に住む人々のライフスタイルの変化にとともに、デジタルの力が「下沈市場」の潜在力を引き出し、新たなビジネスチャンスを生む。
- ▶ 一方、リスクがチャンスと表裏一体で顕在化しており、デジタル化の急進展がもたらす負の側面やデジタルデバイドの解消など課題も山積している。ネットビジネスに関連する規制やデータガバナンスが強化され続ける中で、デジタル分野の競争力を低下させる要因として、ベンチャー起業活動の衰退やテック企業からの人材流出、若者の公務員志向の高まりなどが懸念されている。



注目データ

### 中国の農村地域のデジタル化は着実に進展している

	2015年	2018年	2020年
農村地域のネット人口（億人）	1.95	2.22	3.09
農村地域のインターネット普及率（%）	31.6	46.2	55.9
農村地域のEC販売総額（億元）	3,530	14,000	17,900
うち農産物のEC販売総額（億元）	1,507	3,130	5,750
タオバオ村の数	778	3,203	5,425

資料：国家統計局データ、中国工業・情報化部公開データを基に作成

注：タオバオ村は中国の末端行政単位である「村」において、1割以上の世帯が電子商取引関連ビジネスに従事し、その年間の取引総額が1000万元に達する村を指す。